

# 令和4年度 学校評価一覧シート

愛知県立半田工科高等学校

項目担当	本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒個々の能力の向上を図る。</li> <li>開かれた学校づくりを推進し、地域への情報発信をより高め生徒募集に繋げる。</li> <li>自己表現できる人間の育成に努め、思いやりの心を醸成させる。</li> </ul>	
	重点目標	具体的方策	留意事項
総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事の企画と見直し、行事の円滑化を図る。</li> <li>P T Aとの連携を深める。</li> <li>防災教育の徹底を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度の反省を踏まえた企画・運営をする。</li> <li>P T A活動の活性化に努める。また、P T A活動等の案内について、メール配信を積極的に活用する。</li> <li>高校生防災セミナーに参加し、防災意識の高揚を図る。また、防災意識の向上につながる防災訓練の実施をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の負担軽減に配慮する。</li> <li>P T A活動の活性化につながるよう他分掌との連携を深める。</li> <li>避難訓練や防災教育等の計画の見直しを図り、防災意識の徹底を図る。</li> </ul>
教務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の学力を向上させる。</li> <li>広報活動の充実</li> <li>学科選択・科目選択に関する申し合わせ事項を見直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の工夫改善を図り、生徒の学習意欲を高める。</li> <li>授業を大切にす。 (授業規律、成績不振者指導等)</li> <li>中学校の進路説明会や、地域交流を通じ本校の様子について伝える。</li> <li>学習指導委員会において、生徒の適性や進路に応じた学科・科目が選択できるよう見直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善に努め、学力向上を図る。</li> <li>成績不振者に対し継続的な指導を行う。</li> <li>生徒個々の学力に合わせて、適切な指導計画を立てる。</li> <li>分掌・学年会等、関係各所と連携し実施する。</li> <li>関係教科・学科、学年会と連携し見直す。</li> </ul>
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶、身だしなみを整える等、生徒自ら主体的に行動できるようにする。</li> <li>安全・安心な学校生活の実現。</li> <li>遅刻、欠席しない基本的生活習慣の確立。</li> <li>いじめの未然防止、早期発見、適切な対処。</li> <li>薬物乱用防止に向けての啓発活動。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校門指導で挨拶の励行も行い、身だしなみ指導も年間8回実施するが、生徒自ら行動に移せるように働きかけていく。</li> <li>講話の実施や、全体、HR単位、部活動単位または個人に対し全職員で協力して指導する。命の大切さを伝えるとともに、人権に関する指導の充実と、交通事故の防止に努める。</li> <li>生活アンケートを利用した情報収集と、家庭や地域社会との連携を図り、いじめの未然防止・早期発見に努める。また情報を職員間で共有し、いじめ防止対策委員会が中心となり全職員で組織的に対応しいじめの根絶をめざす。</li> <li>薬物についての危険性を周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任・教職員・保護者と連携し、生徒と保護者に理解を得られるようにする。</li> <li>命の大切さを伝えるとともに、交通事故の防止に努める。</li> <li>全校集会やHRにおいて、いじめは許されない行為であると生徒に理解させる。</li> <li>講話やリーフレットなどを通し、薬物乱用を未然に防ぐ。</li> </ul>
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路意識の高揚を図る。</li> <li>自分に合った進路選択をさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の目標を持たせ、自己実現に必要な能力を伸長できるように援助する。</li> <li>勤労観・職業観を育成するため、進路への知見を広めさせる情報提供をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの意志と責任で進路を選択決定できるようにする。</li> <li>自己理解を深めさせ、長期的な展望を持って選択できるようにする。</li> </ul>
保健厚生部	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康への意識を高め、感染症予防にも努め、心身ともに健康的な学校生活が送れるようにする。</li> <li>学校生活における不安や悩みの早期発見、解決に努める。</li> <li>日常の清掃に積極的に取り組み、安心安全な学校環境を保つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断、保健講話、毎日の健康観察を通じて健康への意識を高める。</li> <li>こまめな換気、消毒薬・手洗石鹸補充をし、感染症予防に努める。</li> <li>スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、担任、相談係と連携し、教育相談体制の充実をはかり、情報を共有し問題解決に取り組む。</li> <li>清掃を毎日全員で実施し、ごみの分別、環境美化、校内整備に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の健康観察を通じて健康意識向上を図る。</li> <li>感染症に対する情報を収集し、正しい知識を啓蒙しつつ対応する。</li> <li>教育相談委員会、相談係を通じて協力体制をつくり生徒情報の共有と対応を図る。</li> <li>生徒厚生委員によるゴミの分別作業を行う。清掃を日常的なものとして取り組む。</li> </ul>
図書情報部	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が興味を持てる本の購入や企画を行い、利用し易い図書館を目指す。</li> <li>校内のICTの強化、DXを推進させる。</li> <li>ホームページの内容を充実させ、本校の魅力を地域に発信する。</li> <li>「工科Times」「半工 Girl's ライフ」の発行を通じて、本校の魅力をアピールする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「図書館だより」を通じて本や企画の紹介を行い、図書館利用を呼びかける。</li> <li>生徒1台タブレットPCや各種ICT機器を、各教室に設置させる。</li> <li>開設された新学科のWebページの状況を見ながら、改善点や要望のある内容を充実させる。</li> <li>中学校の教員や生徒および保護者、地域、企業関係者に積極的にPRする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「図書館だより」の内容を充実させ、生徒の興味・関心を引き、利用しやすい環境を整える。</li> <li>図書情報部以外の分掌や職員と連携して、早期設置を実現させる。</li> <li>これまでデータを確認し、必要に応じて関係各所に更新を依頼する。</li> <li>「工科Times」「半工 Girl's ライフ」を地元の中学校の教員や生徒および保護者だけでなく、企業関係者にも配布する。</li> </ul>

	重点目標	具体的方策	留意事項
生徒会部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒主体となる学校行事運営を目標とする。</li> <li>・ICTを活用し生徒を主体とした学校行事運営を目標とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自主的に活動し、全校生徒が協力して学校行事に取り組めるように、生徒会執行部が中心になって企画や運営を行う。また、半田工科高等学校に適した学校行事を検討する。</li> <li>・生徒が本校で学んだICT技術を活用してもらい、生徒主体の行事運営を行う。また、ほとんどのデータをデジタルデータ化し運営していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒議会、各委員会の活動を活発化させ、各クラスとの連携を進めて、全校生徒が何らかの行事に参加や協力ができるようにしていく。</li> <li>・教員のサポートの中で生徒主体の運営を目標とすることを留意する。</li> </ul>
工務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得に取り組むことにより、わからないことへの探究心を身に付け、チャレンジ精神を育て、生徒個々の能力向上を図る。</li> <li>・積極的に地域イベントに参加して、開かれた学校づくりを推進し、生徒のコミュニケーション能力の向上を図るとともに、生徒募集に繋げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格の情報を正確に素早く提供する。提供する方法としてホームページを活用する。</li> <li>・地域連携授業や地域イベントに積極的に参加し、本校の魅力を発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページにある資格に関する工務の情報更新をタイムリーに行う。</li> <li>・各工業科と連携を取り、生徒に必要な情報を的確に発信していく。</li> </ul>
ロボット工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の生活指導や実習・課題研究等の授業を大切に、自ら考え行動できる人物を育む。</li> <li>・ロボット工学に必要な、知識や技能を身に付ける。また、『安全』についても考える機会を与え、危険予知能力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習・課題研究や座学の授業、定期考査を大切に。そのため授業の開始時間の厳守や、あいさつ、正しい言葉遣いをはじめとした授業規律を確立し、自ら学習できる環境を整える。</li> <li>・協働ロボットの制御や、シーケンス制御などをはじめとした、『設備設計・製作』の考え方を基本とし、日々の授業で力を身に付けていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員間での情報交換を大切に、多くの方面から指導できるように心がける。</li> <li>・課題や報告書の提出を、しっかりと行わせる。</li> <li>・他学科との情報交換を積極的に行い、授業内容の精度を高めたり内容の見直しを随時行っていく。</li> </ul>
電子機械科・機械科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の生徒の理解に努め、実習や製図などのものづくりの経験を通して、学習に対する姿勢を育む。また、「安全への意識」、「5S」や「報連相」など工業人としての姿勢や考え方を伝え、理解し実践できるように育成する。</li> <li>・新しい学科への学習内容の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科科目に対ししっかり理解させる。特に実習製図など作業を伴う授業では、体験を通して意欲を高める。</li> <li>・資格・検定に対して計画的に取り組ませる。</li> <li>・外部企業との連携を深めることでキャリア教育の推進を図る。</li> <li>・地域の活動に参加し、相互の関連を理解し連携を深める。</li> <li>・新しい実習の教育効果があがるように、設備、指導書、実習展開等を検討し、改善する。</li> <li>・新しい学習指導要領に沿った評価の観点を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を大切にする。</li> <li>・課題、レポート等提出物に対し、期限を守りしっかり取り組ませる。</li> <li>・進路に対する活動に積極的に取り組み、興味関心を高め、目標を持たせる。</li> <li>・学習も進路選択も生徒自ら意欲的に取り組めるように指導する。</li> <li>・学校での多様な活動を通して、コミュニケーション能力の向上を促す。</li> <li>・1年生は他科と連携し、共通理解のもと取り組む。</li> <li>・新しい観点別評価を念頭に置き、年間の学習計画をたて、取り組む。</li> </ul>
電気科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気への興味関心を高めながら、生徒個々の基礎学力とコミュニケーション能力などの向上を図る。</li> <li>・生徒が自己表現できる場を提供しながら、開かれた学校づくりを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の授業や資格取得のための補習を通して、基礎学力および電気に関する知識と能力を高める指導をする。</li> <li>・レポート指導や声かけなどによりコミュニケーション能力の向上を図る。</li> <li>・学校行事に積極的に参加させ、地域貢献や他人と協力できる場を提供し、地域への情報発信につなげる。</li> <li>・ボランティア活動内容や各種競技大会の結果など、生徒の活躍を学校ホームページを通じて情報発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒個々の能力や活動状況を把握し、難易度の高い資格にチャレンジさせるなど適切な目標をもって取り組ませる。</li> <li>・朝や帰り、授業への移動など、機会があるごとに声かけし、正しい言葉遣いやコミュニケーション能力の向上を促す。</li> <li>・自己表現できる場にたくさんの生徒が参加できるように、多くの生徒に声をかける。</li> <li>・ホームページに掲載する内容が生徒や保護者の意向に沿うものかしっかり確認する。</li> </ul>

	重点目標	具体的方策	留意事項
建築科・建築デザイン科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「衣・食・住」という私たちの生活の根幹をなす建築学と、デザインを学ぶことの楽しさと大切さを伝える。</li> <li>・専門教科の基礎的能力を向上させ、社会とのつながりを伝え、応用力を養う。建築を学んだことを活かして社会に貢献していくということを考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築は人の命と財産を守ることに直接関わっていることと、優れたデザインは私たちの生活を豊かにしていることが伝わるよう、新聞記事や映像を機会あるごとに紹介する。</li> <li>・中学生や保護者には、体験入学やホームページを通して、建築デザイン科で学ぶことの楽しさと大切さが伝わるように発信する。</li> <li>・製図は二級建築士の試験が手描き製図のため、手描きの指導とし、CADは実習等で指導する。</li> <li>・1、2年生と3年生の法規選択者は卒業後すぐに二級建築士の受験資格を得られることから、人手不足の建築業界で多くの生徒が卒業後に試験に挑戦するような声掛けを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事やニュース番組等で取り上げられる、南海トラフ巨大地震に対する特集など、建築が人々の命に関わっていることを意識させるよう努める。</li> <li>・体験入学等で中学生と保護者に対して、建築とデザインを学ぶことの楽しさを在校生が自らの声で伝えられるように指導し、展示物も工夫する。</li> <li>・二級建築士試験の製図の試験に必要な、速く綺麗に図面を描き上げられるよう、授業時間内での進捗にもこだわらせる。</li> <li>・高校の教科書に載っている内容が、そのまま二級建築士試験の学科試験の内容と重なるところが多くあるので授業の中で教員が示していくよう心掛ける。</li> </ul>
土木科・都市工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本を重視し、建設業において必要となる知識・教養の習得を目指す。</li> <li>・細かな生活指導を大切にし、基本的な生活習慣を育む。</li> <li>・地域社会との繋がりを大切にし、学外への情報発信もできるよう努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の内容を基本とし、就業を意識した授業展開を行う。特に国家資格の重要性を伝え、学習意欲を向上させる。</li> <li>・日頃より、礼儀、けじめについて、しっかりと指導をする。特に、正しい言葉使いを伝え、社会人としての心構えを身に付けさせる。</li> <li>・県内企業との繋がりを大切にし、現場見学会、外部講師による出前授業等を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じた指導ができるよう、授業進度および展開に気をつける。</li> <li>・職員間での情報交換を大切にし、一方的な指導にならないようにする。</li> <li>・生徒の進路希望にも配慮し、現場見学会、出前授業等を検討する。</li> </ul>

	重点目標	具体的方策	留意事項
1年学年会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の実態を把握しながら規律を身に付けさせる。</li> <li>・資格取得の励行。</li> <li>・学科選択の適正化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの活動における声掛けや、コミュニケーションを取りやすい関係を作りながら指導する。</li> <li>・授業や補習を通して自学自習のできる様に指導する。</li> <li>・実習・座学を通して工業教育へ興味関心を高め、個々の能力にあった学科選択を指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近すぎず遠すぎない距離を保つ。</li> <li>・教材の準備や授業計画を綿密に行う。</li> <li>・生徒の希望と適正からミスマッチが起きないようにする。</li> </ul>
2年学年会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路に対する意識の高揚を図り自分の将来について真剣に考えさせる。</li> <li>・普段の生活で継続的に、学校行事で重点的にクラスの連携を深め、コミュニケーション能力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部と連携し、希望調査の実施とそれに合わせたアドバイスを行うことで、目標設定の方法を指導し来年に向けた意識付けを行う。</li> <li>・クラスメイト同士が積極的にかかわり、普段の生活や修学旅行などの学校行事に協力して取り組むことで、他人との意思疎通方法を学習させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の希望と現状を比較して、その差を具体的に示すことで希望を叶えるためのアドバイスを行い、進路選択させる。</li> <li>・学科に分かれたところで生まれた連帯感や、最大の行事である修学旅行の準備などを足掛かりにコミュニケーション能力の成長を促す。</li> </ul>
3年学年会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の能力や適性を十分に把握し、生徒に適した進路選択ができるように指導する。</li> <li>・社会人としてのモラルやマナーをしっかりと身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HRやLT活動、個人面談を通して、生徒の進路希望について十分に理解する。また、進路指導部や担任間でも連携を図り、職業講和の充実や校内企業説明会への参加を積極的に促す。</li> <li>・学校生活や修学旅行などを通して、社会人として必要なモラルやマナーを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路に関する情報を確実に伝え、生徒と保護者が進路について十分な話し合いができるようにする。また、自分自身で進路決定ができるように個に応じたきめ細かな指導を心がける。</li> <li>・社会人になることを意識させ、日頃から言葉遣いや挨拶、身だしなみなどの大切さを理解させる。</li> </ul>
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の確立について</li> <li>・学校行事、部活動の充実・発展について</li> <li>・資格取得の推進について</li> <li>・学校いじめ防止基本方針に基づく取組について</li> <li>・在校時間等の状況記録の結果を活用し、業務の適正化を図るとともに教職員の確実・適切なメンタルヘルスの保持に努めることについて</li> </ul>	